

様式1-2 (その1)

【申請年度の7月1日現在の保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入等の状況について】

(1)、(2)、(3)のうち、いずれか1つの口にレ印を付けてください。

(1) 生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書等を提出します。

生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書等

(2) 次の者の課税証明書等を提出します。

①	<input type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分・高校生等が未成年(18歳未満)であり、親権者(両親)が2人存在する場合
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長または児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) <ul style="list-style-type: none"> ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等 ・(専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの口にレ印を付けてください。
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人()名分 <ul style="list-style-type: none"> ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
④	<input type="checkbox"/>	高校生等の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(両親等)2名 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生等が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
⑤	<input type="checkbox"/>	主たる生計維持者1名分 <ul style="list-style-type: none"> ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが、主たる生計維持者が存在する場合 等
⑥	<input type="checkbox"/>	高校生等本人 <ul style="list-style-type: none"> ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」と、「高校生等」を「生徒」と読み替えるものとする(以下、同様)。

(3) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

所得確認の対象が高校生等本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で「道府県民税所得割額」及び「市町村民税所得割額」を課されるだけの収入を得ていない場合

※ 1(2)または(3)の場合には、下記の内容を確認の上、口にレ点を付けてください。

対象となる高校生等は、基準日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)は受給していません。 **※必須項目**

【保護者等の状況について】非課税世帯の場合のみ記入(生業扶助世帯は記入不要)〈基準日現在〉

対象となる高校生等の保護者等(親権者または主たる生計維持者(上記④に該当する場合は2名)または未成年後見人(申請者含む))について記載してください。

保護者等の状況	続柄	氏名	生年月日(年齢)	職業等	備考
			(オ)		
			(オ)		
			(オ)		

【代理受領の委任について】(代理受領に了承する場合、口にレ印を付けてください。)

私が支給を受ける高校生等奨学給付金を下記の学校徴収金等に充てることについて、学校設置者(学校長)に委任することを了承します。

学校徴収金費目	金額(円)	計

学校使用欄

32,300円 × 名 =	円	
143,700円 × 名 =	円	
50,500円 × 名 =	円	
10,100円 × 名 =	円	合計 円